

質問者	通告 8 番 3 番 重田 有紀 議員	通告時間 40 分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	子育て世代の多様な働き方をサポートするための、子どもを預かる環境の整備について	
要 旨	<p>多くの女性の社会進出や、若年層の低所得問題等により、共働き世帯が増加し、今や子育て世代の主流となっている。更に、保育料無償化に伴い、保育園入所希望者も増加傾向にあり、働き世代の子どもたちを安心、安全な形で預かる体制の更なる強化が求められている。</p> <p>こうした状況にも関わらず、全国的に、待機児童問題は解消されないままである。本町も例外ではなく、来年度も、待機児童は見込まれている。</p> <p>待機児童問題はもとより、全ての子どもたちが安心して、健やかに育つよう、働き世代を全力でサポートするのは、行政の責務であり、具体的な策を早急に打つことが求められる。</p> <p>このようなことから、以下について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公立保育園について <ol style="list-style-type: none"> (1) 園舎建物と立地場所の安全性は (2) 待機児童ゼロに向けて具体策は 2 公立幼稚園における、長期休暇中の預かり保育実施について 3 児童コミュニティクラブの土曜開所について 	